

No3 茨城MaaS共通基盤の構築と公共交通運行データ利活用推進

(代表事業者) 茨城交通 (連携事業者) 関東鉄道、関鉄グリーンバス、関鉄パープルバス、
関鉄観光バス、ひたちなか海浜鉄道、みちのりホールディングス、ジョルダン

■ 事業概要

茨城県下の異なる公共交通事業者・業種間のデータ連携基盤（MaaS共通基盤）を構築し、シームレスで利便性の高い利用環境を目指します。また収集・集約した運行データを自治体と共有し、多様な統計データと合わせて分析することで交通事業の生産性向上を目指します。

■ 課題解決方法



利用者・シーンに合った最適な手段の提案



茨城県下の多様な交通サービス

- 本取組では複数交通事業者にまたがるデータ集約・分析、チケット発券などを集約したMaaS共通基盤を構築することで、公共交通の利用環境を改善することを目指す。
- MaaS基盤に集約するデータは広く一般利用できるように環境を整え、様々なシーンでの活用を想定する。
- 利用者向けには、異なる事業者の運行情報を一元的に表示するデジタルサイネージによる共通案内やアプリなどを通して購入・利用できるMaaSサービスを県下広域で提供を目指す。
- 運行データを分析することで、慢性的な遅れ区間のダイヤ改善や交通空白地域・時間帯の改善などを定量的に行い、サービスの改善を目指す。
- MaaS共通の参加事業者の拡大を今後目指す。

